



今野 清孝  
(市民の声)

### 物品納入遅れによる指名停止

**質** 先頃、能代市は購入契約した物品の納入が遅れたとして、市内の印刷業者を2カ月の指名停止としたとのことであるが、納入が遅れた原因と、指名停止に至った経緯は。

**答** 封筒等の納入について納期を過ぎても報告がなく、2カ月の指名停止とした。処分は要綱に基づき、協議の上、市長決裁により決定した。当該業者から仕様書の一部相違もあり、納期の変更が必要だったのでは、との質問があったが納期内に申し出があれば期限内の契約変更も検討可能だった旨、回答した。

### 市税等の延納制度の継続

**質** 農家には、同制度の継続を求める声がある。平成22年度で廃止する方針に変わりはないか。廃止するのであれば、きめ細やかな相談活動と柔軟な対応を強く要望する。

**答** 同制度は、能代地域のみ慣例として行われてきた。合併協議では新市で検討することとしていた。旧能代市納税貯蓄組合連合会等と相談を重ね、激減緩和のため合併後5年は猶予期間とし、平成23年度に廃止することとした。利用者の方々が不安を抱くことがないよう、納税相談等により実情にあわせた対応が可能となるよう取り組みたい。

#### その他の質問事項

- ・ 政権交代後の市政の影響
- ・ 高齢者福祉の充実
- ・ 市単独の農業農村整備事業の創設



飯坂 誠悦  
(創風会)

### 環境面でのアダプトプログラム

**質** 環境基本計画に明記されているアダプトプログラムの現状はいかがか。クリーンアップとの違いをいかに住民団体に浸透させ、呼び込んでいくべきか、その考えはいかがか。

**答** 市内では、能代バイパス黒松友の会サポートプログラムが唯一。アダプトプログラムは、市民や企業と行政支援の役割分担が明確である一方、活動が強制的になるおそれや事務手続きの煩雑さもある。今後、制度が簡便な先進事例について市環境のまちづくり市民懇談会と協議し市民が取り組みやすいプログラムを確立し進めたい。

### 学校での拉致問題の取り組み

**質** 拉致問題に関心を持ってもらうためには、学校での取り組みが重要で、愛媛県教育委員会では教職員用の参考資料を作成しているが、このような取り組みをしてみているかどうか。

**答** 今後、本市でも参考資料等を作成する方向で検討していく。また愛媛県教育委員会の参考資料は、小中学校、高校での指導事例が具体的に示されているとともに、拉致問題啓発アニメの効果的な活用がなされており、本市の学校でも実践の参考資料になると思うので、この資料を学校に配布し紹介していきたい。

#### その他の質問事項

- ・ 歴史教科書の採択



小林 秀彦  
(日本共産党)

### 新型インフルエンザ対策

**質** 急速な感染拡大に見合った対策の強化が必要である。各医療機関との協力体制、市民への正確な情報提供、相談体制の強化など市としての今後の対策は。

**答** 今後、感染予防、診療体制等を周知し、広報・ホームページ等を活用した迅速な情報提供、能代市発熱外来センターの時間延長、能代市新型インフルエンザ対策行動計画に基づく対策など、関係機関と連携し対策を講じたい。また感染により職員数が減少しても、必要な行政サービスを継続するための対策も検討したい。

### 農家の市税等の延納制度の取りやめ

**質** 旧能代市の農家は、延納制度で営農と暮らしが守られてきた。営農が厳しい状況の時こそ延納制度を継続していただき、農家が安心して納税できるようにすべきでは。

**答** 合併協議では新市での検討項目としており、旧能代市納税貯蓄組合連合会等と相談し、廃止の方向で手続きを進めてきた。利用者には平成23年度からの延納制度の廃止について通知しているが、今後とも農業収入が主な方々の不安を招かないよう、納税相談等により個々の実情にあった対応が可能となるよう取り組みたい。

#### その他の質問事項

- ・ 7月の大雨被害の対策
- ・ イオン出店とまちづくり
- ・ 特別養護老人ホームの廃止